

学校名 入来小学校 校長名 本山 和彦

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評定(数値平均)		対策・改善点	評定(数値平均)		主な意見		
段階	人数	平均	段階	人数		平均				
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	A	7	3.6	学校だよりやホームページ等を活用して情報を伝えている。	A	8	3.6	学校だより等で大変すばらしい経営が実践されている。学校だよりを通して経営方針がよく伝わっている。HPがよく更新されている。生の声でもう少しほしい。
			B	4			B	6		
			C				C			
			D				D			
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	A	8	3.7	学力テストや体力テストの分析を行い、対策を講じている。	A	7	3.5	全力で取り組まれている。低学年の子ども達の伸び感が学校参観を通して感じられた。学習のしつづけがしっかりとできてよい。先生方の熱心な指導に感謝する。学力に力をつけてほしい。
			B	3			B	7		
			C				C			
			D				D			
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	A	8	3.7	休み時間は、ほとんどの児童が外で元気に遊んでいる。	A	13	3.9	一人一人の表情が明るく生き生きしている。校庭で楽しそうに遊んでいる児童が多かった。生き生き感が感じられた。
			B	3			B	1		
			C				C			
			D				D			
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	A	9	3.8	毎月1回いじめアンケートを行い、詳細については一人一人に個別に聞き取りを行って丁寧に対応している。	A	10	3.7	計画的に充実した取組がなされている。一人一人を大切にしていることがよく分かる。いじめ・不登校に対する説明で安心した。
			B	2			B	4		
			C				C			
			D				D			
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	A	7	3.6	集団下校を行うことで、安全な登下校の意識づけとなっている。	A	6	3.4	子供の安全対策に気配りされている。スクールバスの登下校にも大変よく努力されすばらしい。何かあると、すぐ安心メールを活用している。
			B	4			B	7		
			C				C	1		
			D				D			
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	A	5	3.5	学校での様子をこまめに伝えるなど、信頼関係の構築に努めている。	A	3	3.2	楽しい雰囲気での授業が行われている。全職員が子供たち一人一人の担任という意識付けに対し自覚の重要性を痛感した。地域行事が少なく、どこまで信頼関係が構築できているか。
			B	6			B	11		
			C				C			
			D				D			
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	A	6	3.5	「教児一体」となって清掃活動やボランティアタイムへ取り組んでいる。	A	10	3.7	花壇の花がとてもきれいだった。環境美化によく取り組んでいる。斜面が多く大変だと思う。環境は「心のやまびこ」大変よく計画・実践されている。環境がよく整備されている。
			B	5			B	4		
			C				C			
			D				D			
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	A	9	3.8	毎月安全点検を行い、対応が必要な点は迅速に行っている。	A	11	3.8	よくなされている。
			B	2			B	3		
			C				C			
			D				D			
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	A	6	3.5	「よい子のあゆみ」等で個別に知らせている。	A	8	3.6	先生方の生き生きした対応で安心した。よく努力されている。全体的な様子でしか公表することができないと思う。保護者にもう少し学力の実態を知ってほしい。
			B	4			B	6		
			C	1			C			
			D				D			
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	A	4	3.4	愛校作業やリサイクル活動等へご協力いただいております。大変ありがたい。	A	4	3.3	今年はお出番が少なかったが、一生懸命やっている。地域との連携がもっとほしい。活動は少なかったが、参加率は高いと思う。
			B	7			B	10		
			C				C			
			D				D			

学 校 名
入来小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			主な意見
			評定(数値平均)				評定(数値平均)			
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階	人数	平均	教師間交流で中学校の先生に授業をしてもらい、専門的な指導ができてよかった。	段階	人数	平均	先生方は大変だろうが充実した取組がなされている。コロナ禍で交流が少なかったが、活動は生き生きとしていた。
			A	2	3.0		A	1		
			B	7			B	10		
			C	2			C	1		
D		D								
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	段階	人数	平均	感染症予防のため延期になっていたが、1月25日にサイエンスショー(九州サイエンスラボ)を実施する予定である。	段階	人数	平均	計画的で充実している。外部講師を呼んで、子供たちに夢を与えてくれている。楽しく学習できていた。
			A	5	3.6		A	8		
			B	3			B	5		
			C				C			
D		D								
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	段階	人数	平均	ESTやALTとの連携によって、子供たちが楽しんで学習できる授業に繋がっている。	段階	人数	平均	一人一人の児童が生き生きと活動していて嬉しい。英語教育の推進にあたり、教材等に創意工夫が図られている。子供たちも英語の授業を楽しみにしている。
			A	7	3.5		A	6		
			B	3			B	7		
			C	1			C			
D		D								
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	気持ちのよい挨拶には個人差があるが、絶えず声かけを行っていききたい。	段階	人数	平均	よく挨拶をしている。交差点などで、よく挨拶してくれる。大きい声で元気をいただいている。地域での挨拶が足りなかったり個人差があったりする。
			A	3	3.2		A	4		
			B	7			B	9		
			C	1			C			
D		D								
15	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均	
			A		#DIV/0!		A			
			B				B			
			C				C			
D		D								

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

＜子供や保護者、地域との望ましい関係の構築について＞

- 責任を果たす学校
- ・学力向上やいじめ、不登校等の課題を共有し、積極的に保護者や地域、関係機関と協力して課題解決にあたる。
- ・学校評価や学校関係者評価(学校運営協議会)の意見に真摯に向き合い、教職員一丸となって改善を図る。
- ・学校だよりや学級通信、学級PTA等の話し合いや日々の連絡等を通じて、説明責任を確実に果たす。

＜学力の向上について＞

- 成就感や達成感、自己肯定感を育み、自ら学ぶ意欲を高める。
- ・主体的・対話的で深い学びを実現するための学級づくりに取り組む。
- ・「分かる授業」「できる授業」の実現のために、教師自らの指導法を見つめ直す。(セルフチェックシート活用)
- ・基本的な学習のしつけや家庭学習の習慣を確立するために、家庭との連携を強化する。(学級PTA活動の充実)
- ・業務改善を進め、無駄を省き、補充指導や発展的な指導の時間を確保する。(教育の質の向上を図る)

＜豊かな情操を育む＞

- 学校教育活動全般を通じて豊かな体験活動の充実を図る。
- ・地域の豊かな教育素材、人材を積極的に活用する。(ジュニア歴史ガイド、緑の少年団、学校応援団、出前授業等の活用)
- ・全教職員が「率先垂範」「教児同行」の姿勢で取り組む。
- ・人権同和教育の充実を図り、自他を尊重する態度を育成する。

＜子供たちの安全について＞

- KYTの指導を充実させ、登下校中や学校内外における危機回避能力の育成を図る。
- ・保護者や地域との連携を密にし、交通事故防止や不審者による被害防止の徹底を図る。

＜小中一貫教育の充実について＞

- 共通実践事項を全職員、保護者、地域が共有し、一丸となって取り組む態勢を構築する。